

議会答弁実録

会期： 平成 20 年 2 月 予算特別委員会 会派： 05 自民
日程： 2008/03/14 質問者： 石橋 良三
発言順： 05 午前 1 番 質問番号： 4-(1)
担当部局： 12 政策企画部 答弁者： 17 政策企画部長

タイトル: ビジョンが目指す人間像について

問:

本年 3 月に「広島県人づくりビジョン」が策定される予定である。

このビジョンが策定されるまでの経過であるが、まず、平成 18 年度には、広島県総合計画「元気挑戦プラン」の新たな柱に位置付けられた「人づくり」を推進するため、「人づくり懇話会」が設置され、平成 19 年 3 月、知事に対して「提言」が提出された。

また、今年度は、この人づくり懇話会での提言の理念を継承し、助言等を受けるための「広島県人づくり委員会」のほか、関係団体や市町との意見交換会が開催されている。

2 年間もの歳月と労力をかけて策定される今回のビジョンだが、このビジョンは、端的に言えば、どのような人間像を目指すビジョンなのか、政策企画部長に伺う。

答:

現在取りまとめを進めております人づくりビジョンは、広島県総合計画「元気挑戦プラン」に掲げる、「活力と安心、希望のある『元気な広島県』の実現」のために、本県の明日を拓く人づくりを目指して策定しているものでございます。

グローバル化の進展や、少子高齢・人口減少社会の到来、核家族化など、社会が大きく変化する中であって、未来へ向けて魅力ある元気な広島県を築いていくためには、夢と希望を持ち、互いに力を合わせて地域の可能性を拓いていく活力ある人づくりが求められております。

このため、人づくりビジョンにおきましては、個人として自立し、互いに支え合い、社会の一員としての役割を意識して、自ら考え行動できる人づくりを目指すこととしております。

同時に、活力ある人が育ち活躍できる基盤といたしまして、それぞれの豊かな個性や能力・可能性を活かすことのできる「人を活かす社会づくり」を目指しております。

このような、「活力ある人づくり」と「人を活かす社会づくり」によりまして、「国内外から人材が集まる 魅力ある元気な広島県」を実現して参りたいと考えております。